

多施設で利用可能な 看護ケアクリニカルパス の開発【3】

～データ移植で大変だったこと～

一般財団法人 永頼会 松山市民病院 森本麻里
NHO 四国がんセンター 清水弥生
名古屋大学医学部附属病院 船田千秋
社会医療法人 HITO病院 近藤恵美子
一般財団法人 永頼会 松山市民病院 溝田園子

はじめに

- 今回、多施設間で化学療法（汎用）看護ケアパス（以下ケアパス）が開発され、共通のベンダー間でデータ移植を行い、運用を開始することができた



目的

- ケアパス運用開始のためデータ移植を行う際に、生じた様々な問題について報告する



活動内容

- **期間**: 平成26年12月～平成27年6月
- **活動内容**
 - ①ベンダーが自動データ移植できる項目の確認
 - ②パス画面の変更
 - ③手作業で入力が必要な項目の入力作業
 - ④多施設との定期的な合同会議による情報共有・交換
 - ⑤ベンダー・ソフトウェアサービスとの調整

データ移植作業の前に

- 他施設のパスを確認していなかで
聞いたことない、不明なことがたくさん！！
組織間調整・コンサルテーション
プログラムドケア って何??



まず、パスに使用されている言葉について理解することが必要！！

クリニカルパスについても

- **パスについても理解していない！！**
- 各ステップ毎の項目内容を把握していない
- パスは計画・アウトカムと連動の必要性
- パス内容はステップ毎に入力が必要



パスの基本・運用方法について理解が必要
当院の今後の課題！！

当院で使用しているパス

他施設からのパスデータ

他施設	他施設Follow	退院準備	
1日前	基準日	1日前	
自己管理準備促進状態	自己管理準備促進状態	自己管理準備促進状態	自己管理準備促進状態
安全確保	安全確保	安全確保	安全確保
転倒リスク状態	転倒リスク状態	転倒リスク状態	転倒リスク状態
疾患について理解できる	疾患について理解できる	疾患について理解できる	疾患について理解できる
自己管理ができる	自己管理ができる	自己管理ができる	自己管理ができる
転倒しない	転倒しない	転倒しない	転倒しない
アレルギーの症状・所見がない	アレルギーの症状・所見がない	アレルギーの症状・所見がない	アレルギーの症状・所見がない
全身状態に問題がない	全身状態に問題がない	全身状態に問題がない	全身状態に問題がない
食物療法について理解できる	食物療法について理解できる	食物療法について理解できる	食物療法について理解できる
歩行回数 > 3回<7回	歩行回数 > 3回<7回	歩行回数 > 3回<7回	歩行回数 > 3回<7回
悪心 (+)	悪心 (+)	悪心 (+)	悪心 (+)
嘔吐回数	嘔吐回数	嘔吐回数	嘔吐回数
気分状態の悪化 (-)	気分状態の悪化 (-)	気分状態の悪化 (-)	気分状態の悪化 (-)
食量の変化 (-)	食量の変化 (-)	食量の変化 (-)	食量の変化 (-)
倦怠感 (+)	倦怠感 (+)	倦怠感 (+)	倦怠感 (+)
不安 (+)	不安 (+)	不安 (+)	不安 (+)
バイタル (状態に合わせて必要な回数)	バイタル (状態に合わせて必要な回数)	バイタル (状態に合わせて必要な回数)	バイタル (状態に合わせて必要な回数)
水分不保	水分不保	水分不保	水分不保
下痢	下痢	下痢	下痢
便秘	便秘	便秘	便秘
認知	認知	認知	認知
不安 (31002418 指示の理解)	不安 (31002418 指示の理解)	不安 (31002418 指示の理解)	不安 (31002418 指示の理解)
不安 (判別)	不安 (判別)	不安 (判別)	不安 (判別)
悪心	悪心	悪心	悪心
嘔吐回数	嘔吐回数	嘔吐回数	嘔吐回数
気分状態 (安否時)	気分状態 (安否時)	気分状態 (安否時)	気分状態 (安否時)
食量	食量	食量	食量
倦怠感 (判別)	倦怠感 (判別)	倦怠感 (判別)	倦怠感 (判別)
不安 (判別)	不安 (判別)	不安 (判別)	不安 (判別)

手作業で入力必要な項目

- 看護指示オーダー (観察指示含む)
- 看護計画
- アウトカム (CTCAE分)
- 観察項目
- 検査結果

入力作業について

ステップフロー

- 入院当日、ケモ開始となる事が多いため入院・治療前、治療日、治療後フォロー、退院準備、退院の5つとした



看護指示オーダー

- 活用していない項目が多く、慣れないため入力に手間がかかった
- ケアパスのため、看護ケア・処置が細かく入力してあり、ケアパスのみで実施対応できる

看護計画

- 看護計画とパスを連動する知識がなく、また病院独自の計画であり、新たに計画を作成したため時間がかかった
- 看護計画内に看護ケアパスを追加、計画は各ステップフロー毎に作成した

ケアパス看護計画

アウトカム

- 看護計画とアウトカムも連動した内容であった
- 同ベンダー間であったため、アウトカムは内容が同様であり入力は容易であった
- 当院にはCTCAE項目・評価実施していないため新たに追加→今後、評価方法は指導必要

観察項目

- 知識・認識・理解・悪心・PSがなく追加した
- 看護計画内容と観察項目が連動した内容であった

多施設との合同会議

- データ移植作業開始後、5回開催

内容: 作業内容の進行状況報告

作業での疑問点・困難な点について報告

パスマスタ・タスク・看護計画確認

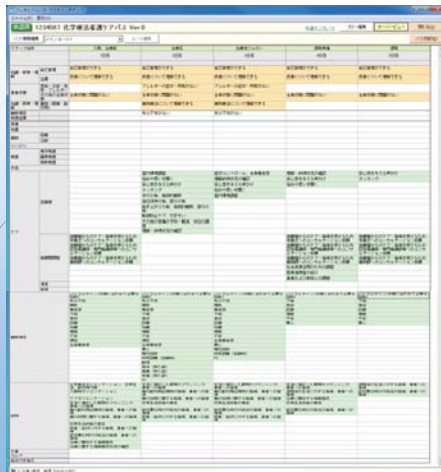
入力できない内容について

看護計画内容の確認

操作・入力方法について

同作業経験者であるため、困っている

→ 内容について理解されやすく、すぐ解決できる



患者ID	氏名	性別	年齢	病室	病名	担当	連絡先	備考
001	山田 太郎	男	65	101	糖尿病	山田 太郎	03-1234-5678	
002	田中 花子	女	72	102	高血圧	田中 花子	03-1234-5679	
003	佐藤 一郎	男	58	103	心臓病	佐藤 一郎	03-1234-5680	
004	鈴木 美咲	女	45	104	がん	鈴木 美咲	03-1234-5681	
005	高橋 健太	男	78	105	認知症	高橋 健太	03-1234-5682	

結論

- ケアパス運用には、まずパスの内容について把握・理解しておく必要がある
- 自院のパス内容や項目の使用状況について把握し、移植データと比較し修正が必要である
- 多施設との情報交換や共有で早期問題解決でき、データ移植作業の効率が図れる
- 多施設間での看護ケアパスのデータ移植は可能であり、今後も様々なケアパスの移植・運用が可能である

おわりに

- 今回、他施設からの看護ケアパスのデータ移植を行い運用開始することができた



ご清聴ありがとうございました

